

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	本間 章郎（学内連絡教官 佐藤 美弥子）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>英文において頻出する構文、表現を学びながら、筆者の考えの論旨の流れを見失うことなく、適切に英文を読む力の向上を目指します。テキストは環境保護の立場から一元的に環境を論じるのではなく、破壊問題の抱える、広汎な現代生活と環境との係わりを理解す図式を与えてくれるのではないかと思います。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
English A、B、C、D

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
English E

【教科書等】
<p>教科書：Thinking About the Environment（邦題「地球環境と文明」） Richard Evanoff著 マクミラン社 1554円</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

毎回、担当者を決めてテキストを読み進めていきます。担当者が担当した箇所をしっかりと準備することは当然ですが、他の授業出席者に対してもできるだけ授業の進行が許す限り質問をおこなうので、しっかりとテキストを読んで来てください。区切りのいいところでテキストの内容を踏まえて、皆さんの意見を英語で表現してもらおうので、テキストの筆者の考えを良く理解してください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価は、学期末テストを中心に、授業における私の質問への理解の有無、出席点などの授業における平常点を加算して、総合的に判断します。ただし、成績評価の対象となるのは、最低限の出席の回数を達成していないといけませんので、欠席の回数には気をつけてください。100点に換算して成績評価をおこないますが、60点以上が単位取得のための最低基準点数となります。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けていないので、相談のある方は、授業当日の授業時間の前に、非常勤講師控え室に来てください。

【学生へのメッセージ】

これから専門的な研究や、学問的な関心を追求していく上で、英語は大きな比重を占めていくのではないかと思います。英語が障害となることなく、手段として研究を深めていく上で役立つようになることを望んでいます。

【その他】